

好評！  
3年連続  
開催！

# 地方創生実践塾 in 岩手県紫波町

紫波町が長年塩漬けとなっていた、  
町有地を活用したプロジェクト「オガールプロジェクト」。

都市と農村の暮らしを愉しむ、  
「ゆとり」と「べんり」を兼ね備えているまち・オガール  
を直接見ます。

鎌田氏、岡崎氏から「公民連携」を学びます。

令和2年9月25日(金)13時  
～26日(土)16時30分



オガールプラザほか(岩手県紫波町)



地域づくりに興味のある方

(公務員、NPO、地域づくり団体、学生等どなたでも)

定員

40名(先着順・変更の可能性あり)

主任  
講師

鎌田 千市氏

紫波町企画総務部企画課長

平成19年より現在まで、  
紫波中央駅前都市整備事業  
(オガールプロジェクト)  
を担当。リノベーション  
まちづくりや地域運営組織  
の形成支援にも携わっている。



特別  
講師

岡崎 正信氏

(株)オガール代表取締役/  
(一社)公民連携事業機構理事

平成7年に地域振興整備公団  
に入団し、各地で地域再生事  
業に従事。  
現在は紫波町の公民連携事業  
「オガールプロジェクト」を  
企画推進すると共に、全国各  
地の地域のアドバイザーとし  
て奔走している。



【問い合わせ・お申し込み先】  
一般財団法人地域活性化センター  
地域創生グループ(担当:高橋)

TEL: 03-5202-6136 FAX: 03-5202-0755

E-mail: chiiki@jcrd.jp Web: http://www.jcrd.jp/

主催: (一財)地域活性化センター/共催: 紫波町/後援(予定): 総務省・内閣府・岩手県

紫波町における都市と農村のくらし  
オガールプロジェクトとリノベーションまちづくり

地方創生実践塾

ココがポイント！【講義・グループワーク】

公民連携による公有地活用「オガールプロジェクト」

○紫波町が長年塩漬けとなっていた町有地を活用したプロジェクトである。  
○都市と農村の暮らしを愉しむ、「ゆとり」と「べんり」を兼ね備えているまち・オガールを直接見ます。鎌田氏、岡崎氏から「公民連携」、手塚氏から図書館の価値を学びます。

ココがポイント！【フィールドワーク】

○フィールドワークで紫波町のリノベーションまちづくりを学びます。

「YOKOSAWA CAMPUS PROJECT」  
○商店街の空き家をリノベーションし、若者のチャレンジを後押しする拠点を創るプロジェクトである。  
「筆筒工房はこや・宿はこや」  
○時代筆筒の逸品を忠実に再現する工房と、古民家をセルフリノベーションした、ゲストハウスの農村の暮らしである。

人気プログラム  
連続3年目の  
開催！

【スケジュール（予定）】

※新型コロナウイルス感染症の影響により内容が変更となる場合があります。

9月25日（金）13:00～18:30

- ◆開講式
- ◆講義①  
鎌田 千市氏（紫波町企画総務部企画課長）
- ◆フィールドワーク  
「オガールさんぽ」 公民連携“公”と“民”の  
キーパーソンからお話を聞きます！
- ◆講義②  
岡崎 正信氏  
（㈱オガール代表取締役/（一社）公民連携事業機構理事）
- ◆グループワーク
- 18:30～交流会 ※実施方法については検討中であり、中止する場合がありますのでご承知おきください。

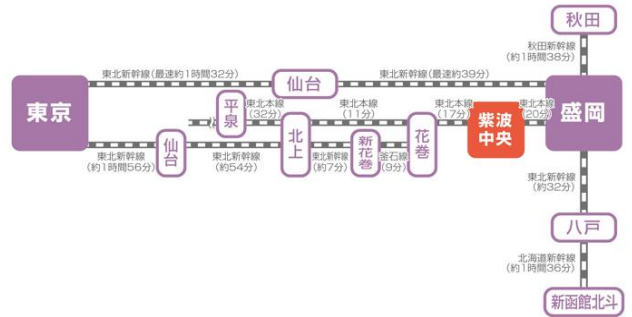
9月26日（土）9:00～16:30

- ◆講義③  
手塚 美希氏（紫波町図書館主任司書）
- ◆紫波町図書館見学  
「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する図書館
- ◆YOKOSAWA CAMPUS見学  
リノベーション  
まちづくりを実際に目で見て、お話を聞きます！
- ◆筆筒工房はこや・宿はこや見学  
古民家のセルフリノベーションに成功したゲストハウス
- ◆昼食（絶品地産弁当を予定・希望制）
- ◆講義④  
須川 翔太氏（紫波町企画課地域開発室主任）  
南條 亜依氏（紫波町地域おこし協力隊/まちづくり会社sasatta.llc代表）  
木戸 良平氏（筆筒工房はこや 職人）  
木戸 章子氏（宿はこや 運営）
- ◆グループワーク 充実したグループワークにより  
実のある実践塾にします！
- ◆閉講式

【紫波町までのアクセス】

会場：オガールプラザほか

電車（オガールプラザ最寄駅：紫波中央駅）



【特別講師紹介】



「知りたい」「学びたい」「遊びたい」を支援する紫波町図書館の主任司書。紫波に根ざした多様な企画展の開催や「夜のとしよかん」などイベントにも充実。産業支援にも力を注いでいる。

手塚 美希氏  
（紫波町図書館主任司書）



紫波町地域おこし協力隊として活動中。また、商店街の空き家をリノベーションし、若者のチャレンジを後押しする拠点を創るプロジェクト「YOKOSAWA CAMPUS PROJECT」代表として奮闘中。

南條 亜依氏  
（紫波町地域おこし協力隊/  
まちづくり会社sasatta.llc代表）



紫波町を盛り上げるべく、大学生のインターン制度や地域おこし協力隊制度などの設立に関わった。課題に対してゼロからの企画設計を行い、地域活性化を進めてきた。

須川 翔太氏  
（紫波町企画課地域開発室主任）



時代筆筒の逸品を忠実に再現する筆筒工房の職人である。古民家をセルフリノベーションしたゲストハウス「宿はこや」運営中。

木戸 良平氏（筆筒工房はこや職人）  
木戸 章子氏（宿はこや運営）

【申込方法】

次のいずれかの方法でお申し込みください

①HP申し込みフォーム

右記のQRコードから専用の申込フォームを開き、必要事項を入力の上送信してください。



②E-mail: chiiki@jcrd.jp

件名「実践塾紫波町申込」とし、本文に以下の各事項をご記入の上送信してください。

①氏名②氏名（カタカナ）③性別④生年月日⑤郵便番号・住所⑥勤務先（団体名・役職）⑦勤務先電話番号⑧携帯電話番号（当日連絡が取れる番号）⑨メールアドレス⑩交流会の出欠（会費制・料金未定）⑪26日の昼食の要・不要（1,000円程度）⑫請求書の要・不要（必要であれば宛名を記入）

③FAX: 03-5202-0755（地域活性化センター）

上記各事項①～⑫を記入の上送信してください。  
※様式は任意です。

【お申し込みにあたって】

必ずご確認ください

■受講申込にあたり賛助会員になっていただきます（実践塾の受講は、地域活性化センターの個人賛助会員に対するサービスの一環であり、実践塾の受講のほか、機関紙配布やメルマガ配信等のサービスがあります）。

■賛助会費は【地方創生実践塾地方版L会員10,000円、地方版LS会員（学生）5,000円】です。※詳しくは→<https://www.jcrd.jp/member/about/>

■申込された方へ宿泊についてのご案内を差し上げます。  
開催地までの往復交通費・宿泊費・飲食代等は別途ご負担となります。

■お知らせいただいた個人情報は、当センターからの事務連絡および各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

■開催日の3日前以降にキャンセルされた場合、賛助会費は返金できません。  
万全の感染防止対策のもと実施しますが、風邪の症状がある方は参加をご遠慮いただけます。